

2025年度 早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科
修士課程2年制 一般（秋期）入試問題の訂正内容

【専門科目】

問題冊子：2ページ

設問番号：A-2, 1行目

（誤）

日本では、明治期に、帝国劇場の

（正）

日本では、帝国劇場の

以上

2025年度 修士課程入学試験（秋期）

試験問題〔専門〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題A-1～E-9の中から志望研究指導の問題について解答しなさい。

志望研究指導以外の問題を選択した場合や2問以上解答した場合は採点されません。

問題記号	研究領域	ページ
A-1～7	スポーツ文化研究領域	P. 2
B-1～8	スポーツビジネス研究領域	P. 3～4
C-1～18	スポーツ医科学研究領域	P. 5～7
D-1～6	身体運動科学研究領域	P. 8
E-1～9	コーチング科学研究領域	P. 9～10

A. スポーツ文化研究領域

A-1 研究指導名：スポーツ史（石井 昌幸）

いわゆる「近代スポーツ」の諸特徴を、それ以前のスポーツや娯楽と対比しながら、具体例を挙げて述べなさい。

A-2 研究指導名：舞踊論（杉山 千鶴）

日本では明治期に、帝国劇場の養成機関において最初のバレエ教育がなされた。その内容と意義について述べよ。

A-3 研究指導名：体育科教育学（吉永 武史）

体育授業中の教師行動の中でも、特に「マネジメント」ならびに「相互作用行動」は、児童生徒の学習成果に影響を与えているといわれている。それぞれの特徴について、学習成果との関係を踏まえながら具体的に述べよ。

A-4 研究指導名：スポーツ教授学（深見 英一郎）

体育授業における熟練教師と新任教師の指導技術の違いについて、具体的な例を挙げながら述べなさい。

A-5 研究指導名：スポーツ社会学（中澤 篤史）

以下の①～③の社会学の学術用語の中から 1 つを選んだ上で、i) その学術用語の意味を説明し、ii) その学術用語を使って、スポーツに関連する任意の社会現象を論じなさい。

- ① 社会化（socialization） ② 近代化（modernization） ③ 社会構築主義（social constructionism）

A-6 研究指導名：スポーツ文化論（川島 浩平）

過去一年間に、日本と他国（一つを選ぶこと）で起きた「スポーツ文化」に関連すると思われる出来事を一つずつ取り上げ、スポーツ文化としての共通性と相違性を説明しなさい。その際まず「スポーツ」とは何か、「文化」とは何かを必ず定義すること。

A-7 研究指導名：アジアのスポーツと身体文化（高嶋 航）

1945 年以前の日本のプロスポーツについて知るところを述べよ。

B. スポーツビジネス研究領域

B-1 研究指導名：スポーツ経営学（木村 和彦）

スポーツツーリズムを推進する意義について、我が国の社会的な課題である①人口減少、②グローバル社会への対応、③地域活性化、④ニーズやマーケットの変化という視点から論じなさい。

B-2 研究指導名：健康スポーツ論（中村 好男）

女性アスリートの月経問題について論点を指摘して、解決策を提案せよ。

B-3 研究指導名：トップスポーツビジネス論（平田 竹男）

あなたはある球団（クラブ）の社長です。一つの球団（クラブ）を選び逆台形モデルを用いてその球団（クラブ）の発展を論ぜよ。

B-4 研究指導名：スポーツ組織論（作野 誠一）

地域のスポーツ活動、メガスポーツイベントなど、あらゆるスポーツ場面において、スポーツボランティアの存在は不可欠である。日本のスポーツボランティアについては、希望者の割合（13.9%）に比して実際のボランティア実施率が低い（4.2%）といわれている（SSF「スポーツライフに関する調査」,2022）。その理由および実施率の向上に向けた対策について論じなさい。

B-5 研究指導名：スポーツビジネスマーケティング（松岡 宏高）

スポーツイベントやプロスポーツチームなどにスポンサーとして資金を投じる企業の目的について説明せよ。また、その目的がどの程度達成されたかについて検証する方法についても述べよ。

B-6 研究指導名：スポーツビジネス法（松本 泰介）

オリンピックパラリンピック大会に出場することが決まっていたアスリートに、オリンピックパラリンピック大会直前、不祥事が発覚することがあります。このような場合に、どのような法的手続きに基づき対応することが望ましいか、具体例を挙げながら論じなさい。

B-7 研究指導名：スポーツ&エンターテインメントマネジメント（佐藤 晋太郎）

スポーツ観戦（X）がウェルビーイング（Y）に及ぼすポジティブな影響は近年の科学で強く支持されています。このポジティブな関係性（X→Y）を、あなたが自由に考えた仲介変数（Mediator）を用いてより詳細に説明してください。

B－8 研究指導名：スポーツプロモーション（高橋 義雄）

戦後に開始された国民体育大会は、2024 年の佐賀県の大会から国民スポーツ大会と名称を改め、2035 年に開催する都道府県は3巡目をむかえる。国民スポーツ大会を開催する都道府県に生じる課題と可能性について論じなさい。

C. スポーツ医科学研究領域

C-1 研究指導名：運動免疫学（赤間 高雄）

運動によって免疫機能が変化するメカニズムについて、以下の単語をすべて用いて説明しなさい。

（ストレス） （視床下部） （ホルモン） （自律神経）

C-2 研究指導名：運動器スポーツ医学（鳥居 俊）

運動器の形態には先天性や発育性に生じる変異が見られる。これらは競技によっては高率に見られる場合があるが、スポーツ障害の要因にもなりうる。このような例を挙げ、スポーツ現場で必要な評価や対策について記しなさい。

C-3 研究指導名：健康行動科学（岡 浩一郎）

以下の設問から1つを選択し、回答せよ。

- 1) 「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」における座位行動に関する推奨事項について、策定の背景やポイントについて知るところを述べよ。
- 2) アスリートが抱える心理的問題の解決に向けたメンタルヘルスリテラシーの役割について、知るところを述べよ。

C-4 研究指導名：スポーツ整形外科学（金岡 恒治）

腰椎分離症の発症メカニズムについて説明し、その対処方法について詳述せよ。

C-5 研究指導名：予防医学（鈴木 克彦）

運動誘発性炎症に関して、その特徴、機序および予防対策について知るところを述べよ。

C-6 研究指導名：アスレティックトレーニング（広瀬 統一）

アスリートのリカバリー（疲労回復）の取り組みについて、生物心理社会モデル（Bio-Psycho-Social モデル）の観点から具体例を挙げて論じてください。

C-7 研究指導名：筋生物学（秋本 崇之）

骨格筋における糖取り込みの分子メカニズムについて述べよ。

C-8 研究指導名：運動代謝学（宮下 政司）

一過性の運動が食欲に与える影響について、述べよ。

C-9 研究指導名：運動器スポーツ機能解剖学（熊井 司）

人体の構造の中で腱・靭帯が骨に付着している部分は解剖学的にエンテシス（enthesis）と呼ばれ、様々なスポーツ障害が発生する部位として知られている。エンテシスに起こる代表的なスポーツ障害として下記の選択肢より1つ選び、その病態と治療法、予防法について知るところを述べよ。

選択肢（エンテシスに起こる代表的なスポーツ障害）

テニス肘 ゴルフ肘 ジャンパー膝 アキレス腱付着部症 足底腱膜炎

C-10 研究指導名：健康教育学（石井 香織）

現代の子どもの健康課題を1つ挙げ、ヘルスリテラシーがその健康課題改善に果たす役割について述べよ。

C-11 研究指導名：スポーツ神経精神医科学（西多 昌規）

設問 A、B に解答してください。

- A. NREM 睡眠や REM 睡眠の特徴を、それぞれ記述してください。
- B. 身体運動がメンタルヘルスに与える影響について、知るところを述べてください。

C-12 研究指導名：スポーツ疫学（澤田 亨）

「偶然誤差」と「系統誤差」をそれぞれ説明してください。

C-13 研究指導名：アスレティックパフォーマンス（平山 邦明）

伝統的ピリオダイゼーション、非線形ピリオダイゼーション、ブロックピリオダイゼーションについて、それぞれ解説しなさい。

C-14 研究指導名：環境運動生理学（細川 由梨）

地球温暖化による気候変動により、日本では日最高気温 30℃以上の「真夏日」と日最高気温 35℃以上の「猛暑日」の年間日数が増加している。今後更なる暑熱環境ストレスの増加が見込まれる中、100 年後も安全にスポーツ活動を継続するために（1）競技団体、および（2）スポーツに関わる指導者が実践すべき、（A）短期的（1～2 年単位）および（B）長期的（数十年単位）な安全対策について、労作性熱中症の発症メカニズムを踏まえながら考えを述べよ。

C-15 研究指導名：スポーツ生化学・遺伝学（谷澤 薫平）

運動能力との関連が報告されている遺伝子多型を2つ挙げ、それぞれについて知るところを述べよ。

C-16 研究指導名：スポーツ生理学（前田 清司）

運動中の心拍数の変化とトレーニングによる心拍数の変化についてそれぞれ述べなさい。

C-17 研究指導名：応用生理学（宮地 元彦）

全身持久力の指標である最大酸素摂取量の限定要因について、生理学的観点から 600 文字以内で論ぜよ。

C-18 研究指導名：スポーツ傷害・怪我・予防学（杉本 大輔）

Using English, please write your idea(s) of how to avoid head/face injuries in collision sport(s).

D. 身体運動科学研究領域

D-1 研究指導名：生体ダイナミクス（川上 泰雄）

骨格筋の収縮が関節運動を生み出すまでの過程について知るところを述べなさい。

D-2 研究指導名：スポーツ心理学（正木 宏明）

スポーツの試合中に体験する種々の情動とパフォーマンスとの関係について述べよ。

D-3 研究指導名：統合運動神経生理学（宝田 雄大）

以下の2問のいずれかを選択し、その設問に解答しなさい。

A 動機づけにより、最大随意筋力が増加した。このメカニズムについて考えるところを述べよ。

B Takarada et al. (2000)は、局所的な血流制限下のレジスタンス（加圧）トレーニングでは、たとえ低強度でも、高強度の場合に匹敵する筋肥大をともなった筋力増加を引き起こすことを明らかにした。またこの血流制限下では、筋疲労を引き起こすような繰り返しの筋収縮はもとより、単発の筋収縮でさえ、発揮筋力に対する知覚がその筋活動の変化を伴うことなく増大し、より大きな努力感を抱くことも分かっている(Takarada et al., 2006)。この努力感増大要因について、考えるところを述べよ。但し、短時間の上腕基部への圧迫は正中神経機能を阻害しないこと、そして、筋収縮を伴わないその圧迫は経頭蓋磁気刺激法による単発の一次運動野刺激の誘発筋電図に何らの変化も与えないこととする。

D-4 研究指導名：バイオメカニクス（矢内 利政）

ニュートンの運動法則に基づいて、曲走路を疾走する走者に作用する外力と走者の身体重心運動との関係を片足支持期と空中期のそれぞれについて図やグラフを用いて詳しく説明せよ。

D-5 研究指導名：スポーツ栄養学（田口 素子）

スポーツ選手のからだ作りにとって効果的な栄養摂取について説明しなさい。

D-6 研究指導名：運動生理学（林 直亨）

ヒトの血圧（動脈圧）を調節するメカニズムについて、知るところを述べなさい。

E. コーチング科学研究領域

E-1 走運動・コーチング科学（磯 繁雄）

以下の選手をトレーニング計画する場合、到達目標に対してキーワードを含め計画を述べよ。

到達目標：最大速度毎秒 9.6m/s 以上の走りを出現する

キーワード：「現状毎秒 9m/s」「男子サッカー選手」「現状最大速度でのストライド 2m・ピッチ 4.5s/s」「トレーニング総回数 15 回」

E-2 トップスポーツコーチング科学（奥野 景介）

「スポーツフォーム」とは「試合活動を遂行するための万全の準備状態」である（青山,2017）。この定義に基づき、トップレベルのアスリートを対象としたスポーツフォームの形成において重要な点について、自分の考えを述べなさい。

E-3 スポーツコーチング学（土屋 純）

特定のスポーツ種目について、その競技特性に応じた一貫指導の在り方を運動発達の観点から論じなさい。

E-4 コーチングとこころの科学（堀野 博幸）

コーチングにおいて「自己肯定感」を高めることの重要性について、コーチング現場での具体例を示しながら説明してください。

E-5 ボールゲーム戦術戦略論（倉石 平）

ゲームで勝利するための練習とは、どのような目的と準備が必要か、考えを述べなさい。

E-6 トレーニング科学（岡田 純一）

バックスクワット（Back squat）動作における各関節の動きや筋群の動員について記述するとともに、脚伸展筋力向上を意図する際の動作上の留意点について、膝関節と股関節を対比しながら説明しなさい。

E-7 チームスポーツコーチング論（松井 泰二）

ドリルは、選手の課題を解決させる手立てとして考案・提示される。あなたがコーチの立場である場合、1つのドリルを作成する際に、特に意識する点について、具体例を示しながら述べなさい。

E-8 武道のコーチング学（射手矢 岬）

武道の上達過程における「守・破・離」について説明しなさい。

E－9 冬季スポーツコーチング学（藤田 善也）

ある運動技術を取り上げて、いくつかの運動局面に分類して定義したうえで、それぞれの局面で実施される動作の特徴と目的について述べよ。

(表面より続く)

[illegible]